



**ミネベア株式会社決算説明会**  
**2003年3月期第3四半期決算**

2003 (平成15) 年 2月7日

代表取締役社長 山本 次男

# 2003年3月期第3四半期 連結業績サマリー

(百万円)	2002/3期	----- 2003/3期 -----		伸び率	前年同期比 前四半期比	
	第3四半期	第1四半期	第2四半期			
売上高	68,536	72,367	64,882	68,723	+0.3%	+5.9%
営業利益	4,964	6,031	4,145	5,519	+11.2%	+33.1%
経常利益	3,835	4,524	3,143	4,036	+5.2%	+28.4%
税引前利益	—	4,203	2,614	3,735	—	+42.9%
純利益	—	1,903	640	1,889	—	+195.2%

事業体質も改善し、增收増益

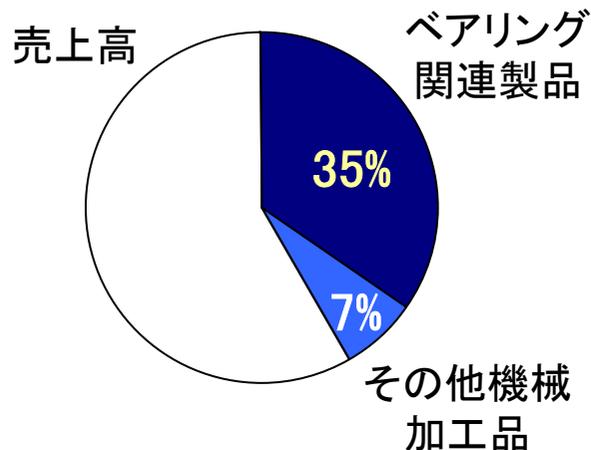
# セグメント別実績

(百万円)	2002/3期	----- 2003/3期 -----			伸び率	
	第3四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	前年同期比	前四半期比
〔売上高〕						
機械加工品	28,358	31,668	28,641	28,723	+1.3%	+0.3%
ベアリング関連製品	23,166	26,420	23,638	23,845	+2.9%	+0.9%
その他機械加工品	5,190	5,249	5,002	4,879	-6.0%	-2.5%
電子機器	39,879	40,699	36,241	40,000	+0.3%	+10.4%
回転機器	19,435	20,793	18,140	20,521	+5.6%	+13.1%
その他電子機器	20,444	19,908	18,097	19,480	-4.7%	+7.6%
流通販売ほか	300	—	—	—	—	—
合計	68,536	72,367	64,882	68,723	+0.3%	+5.9%
〔営業利益〕						
機械加工品	4,678	5,098	4,065	4,771	+2.0%	+17.4%
電子機器	296	933	80	748	+152.7%	+835.0%
流通販売ほか	△ 9	—	—	—	—	—
合計	4,964	6,031	4,145	5,519	+11.2%	+33.1%

# 第3四半期の状況

## 機械加工品セグメント

数字は第3四半期売上高の7-9月期比増減率



### ベアリング関連製品

ボールベアリング： 売上 -1%、11月販売(社内使用含む)

1億4,000万個、12月若干反落、利益率上昇

ロッドエンド&スフェリカルベアリング： -7% 需要低迷続く

ピボットアッセンブリー： +16% シェア拡大、利益率改善へ

### 回転機器

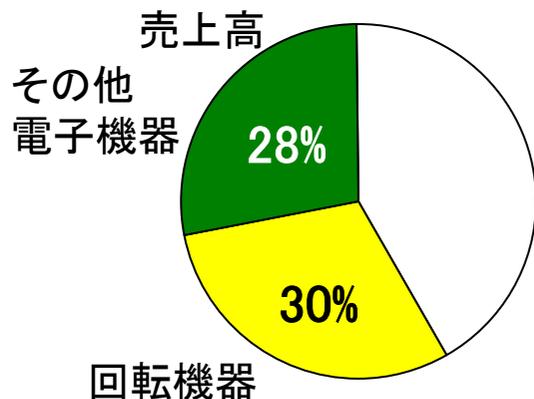
スピンドルモーター： 3.5インチFDBモーター好調により、売上 +35%

11月に黒字化達成

ファンモーター： +6% 売上高過去最高、利益引き続き高水準

ステッピングモーター： -6% 売上高減少

## 電子機器セグメント



### その他電子機器

キーボード： +24% 売上高過去最高、利益引き続き高水準

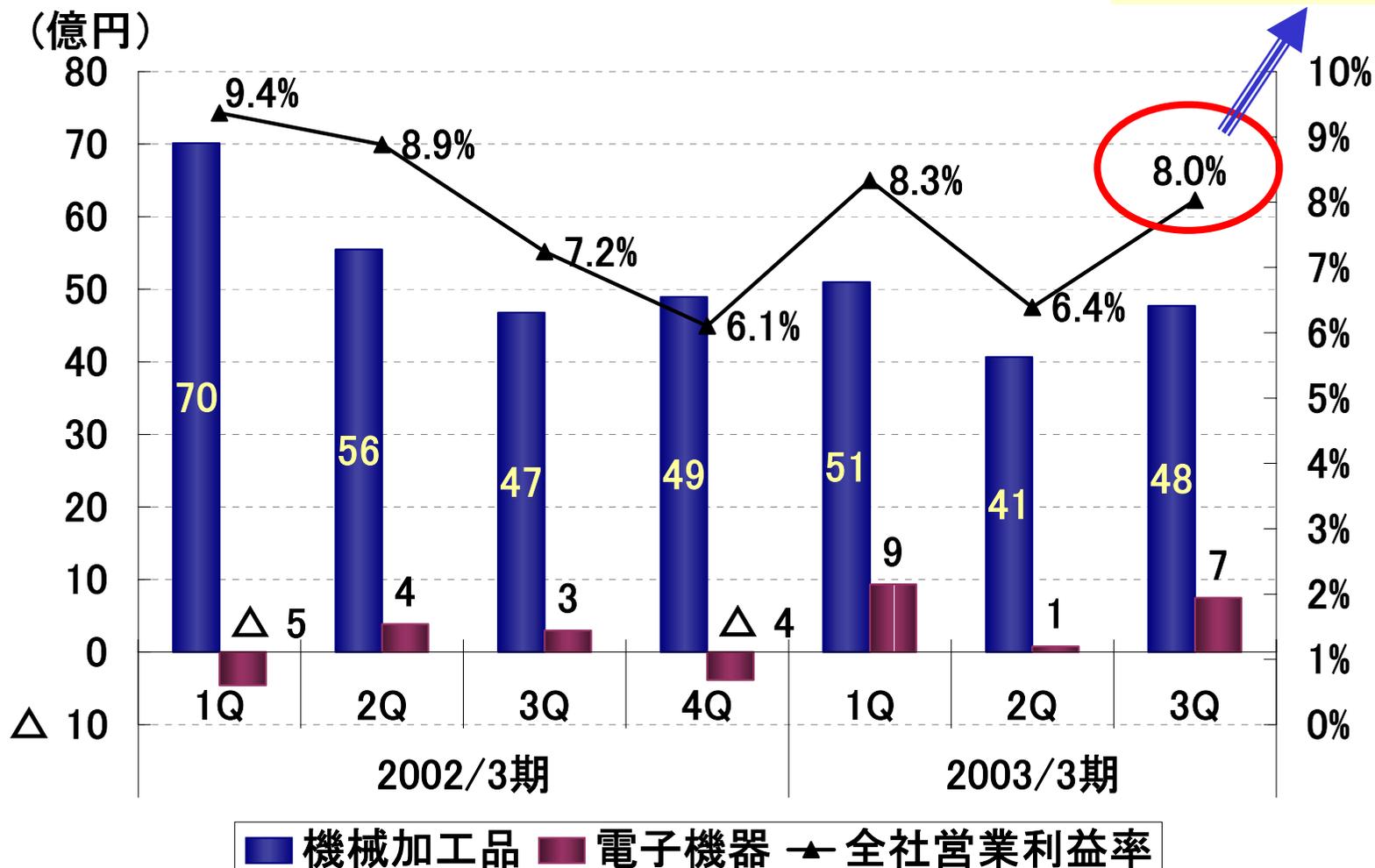
エレクトロデバイス： -1% 収益横ばい

パワーエレクトロニクス： +0% 収益横ばい

スピーカー： -3% 収益横ばい

# 部門別営業利益推移

来期は2桁へ



機械加工品セグメントの営業利益率が16.6%に回復  
電子機器セグメントも利益改善

# 用途別・地域別売上高実績

第3四半期売上高、7-9月期比較

## 用途別売上高

	自動車	航空・宇宙	家電機器	情報通信 機器	PC及び 周辺機器	モータ	その他	合計
売上高比率	6.9%	9.2%	9.2%	9.0%	47.5%	5.6%	12.6%	100.0%
前四半期比 伸び率	-0.3%	+11.3%	-8.3%	-10.1%	+18.6%	+6.7%	-9.3%	+5.9%

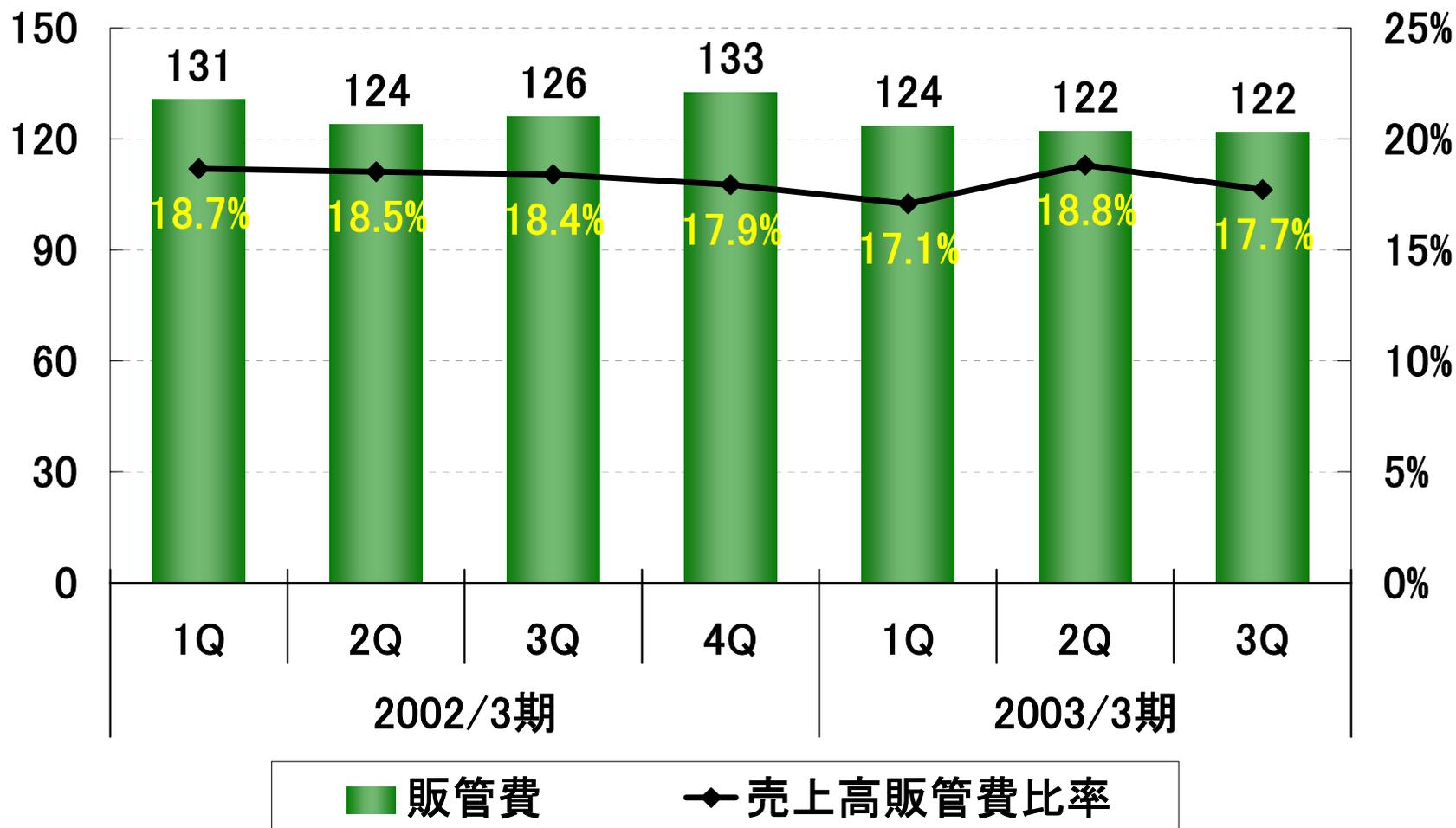
## 地域別売上高

	日本	アジア (除 日本)	北米	欧州	合計
売上高比率	26.0%	40.8%	20.8%	12.4%	100.0%
前四半期比 伸び率	-6.9%	+17.2%	+1.5%	+10.8%	+5.9%

PC関連増加 - スピンドル、キーボード、ピボット、ファン好調  
アジア地域売上大幅増 - 中国エリアが牽引

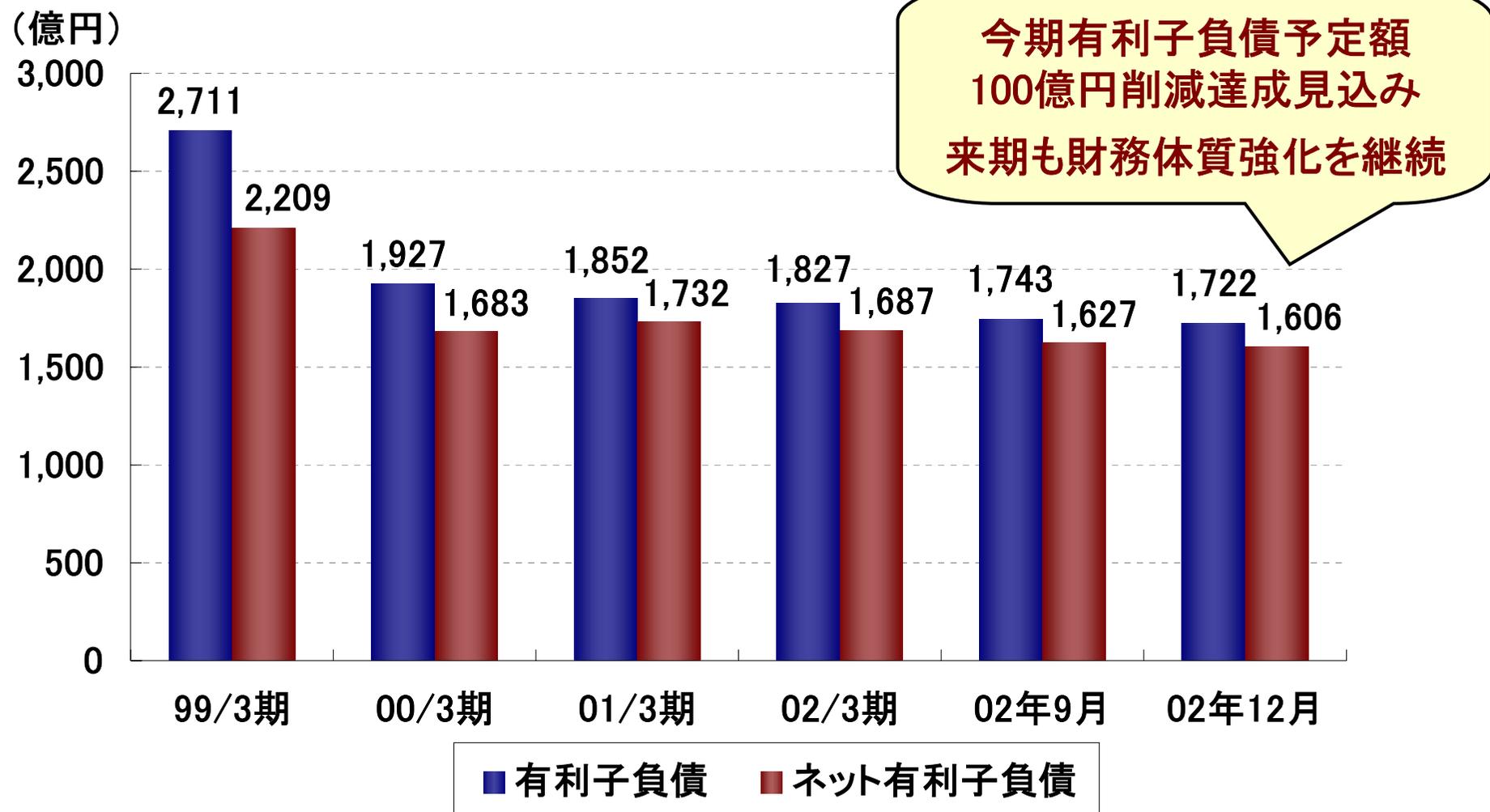
# 販管費推移

(億円)



経費削減を継続して実施

# 有利子負債推移



# 2003年3月期第4四半期見通し

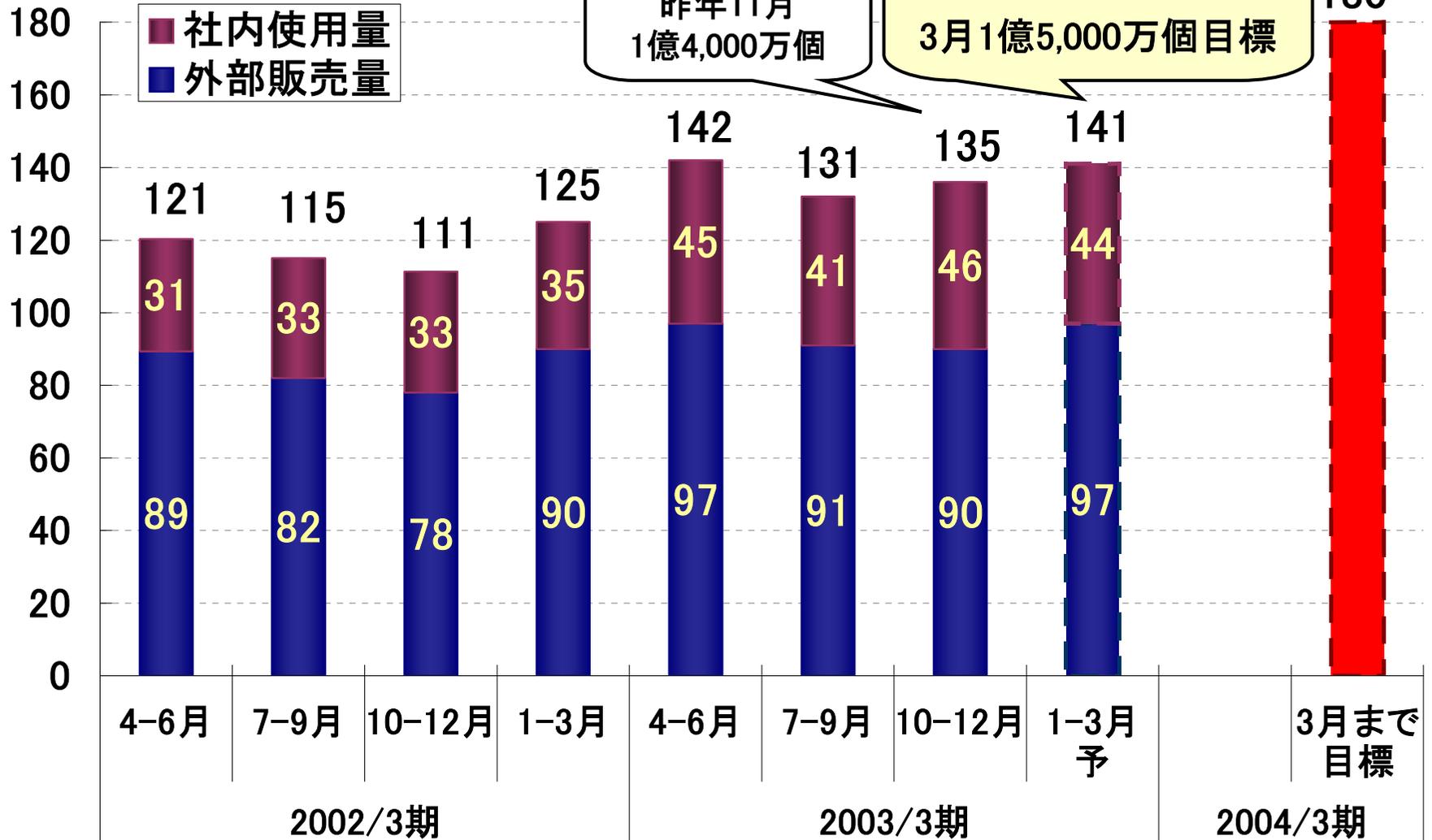
---

- 1-3月期の市場環境
  - ボールベアリング エアコン向け需要回復
  - クリスマス商戦後、当初見込みを上回る反動なし
  - HDD市場比較的底堅い
  - 景気見通しが懸念材料
- 下期業績見通し変更なし  
鍵は、
  - ボールベアリング
  - スピンドルモーター
  - キーボード
  - ファンモーター

# ボールベアリング販売数量推移

来期中1億8,000万個  
実現目指す

(百万個/月)



# ボールベアリング生産計画

2003年末までに月1億8,000万個体制構築

— 設備投資を当初予定より大幅削減

⇒ 50 億円 (従来の1/6)

設備機械 最小限の新設備

工場スペース 増やさず

人員 増員せず むしろ更なる削減を目指す

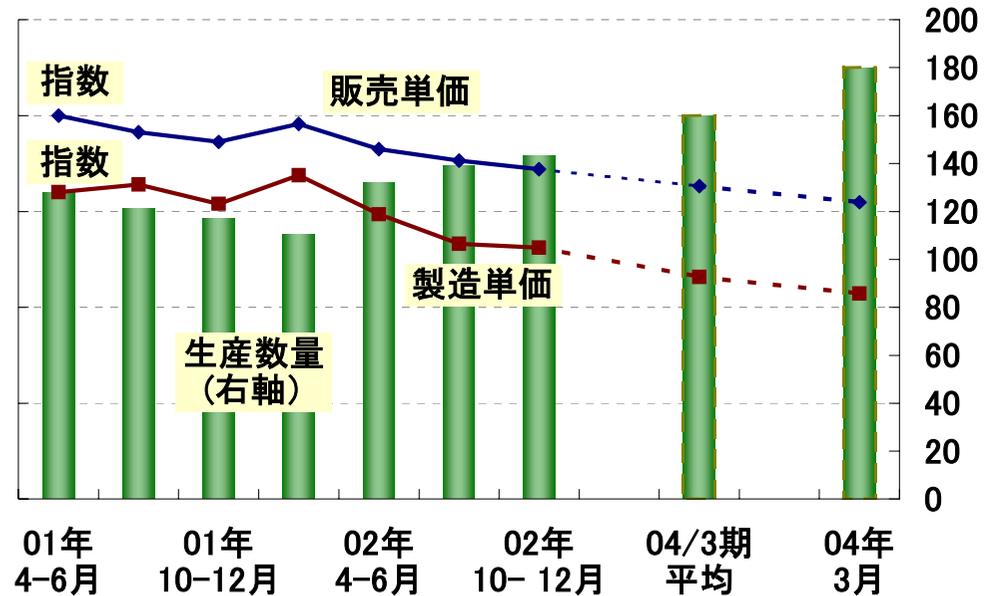
## 新生産方式

### 生産性向上施策

- 歩留まりの向上
- サイクルタイムの短縮
- 消耗品の費用削減
- 副資材の費用削減
- 原材料・設備機械の調達コスト削減/現地調達 等

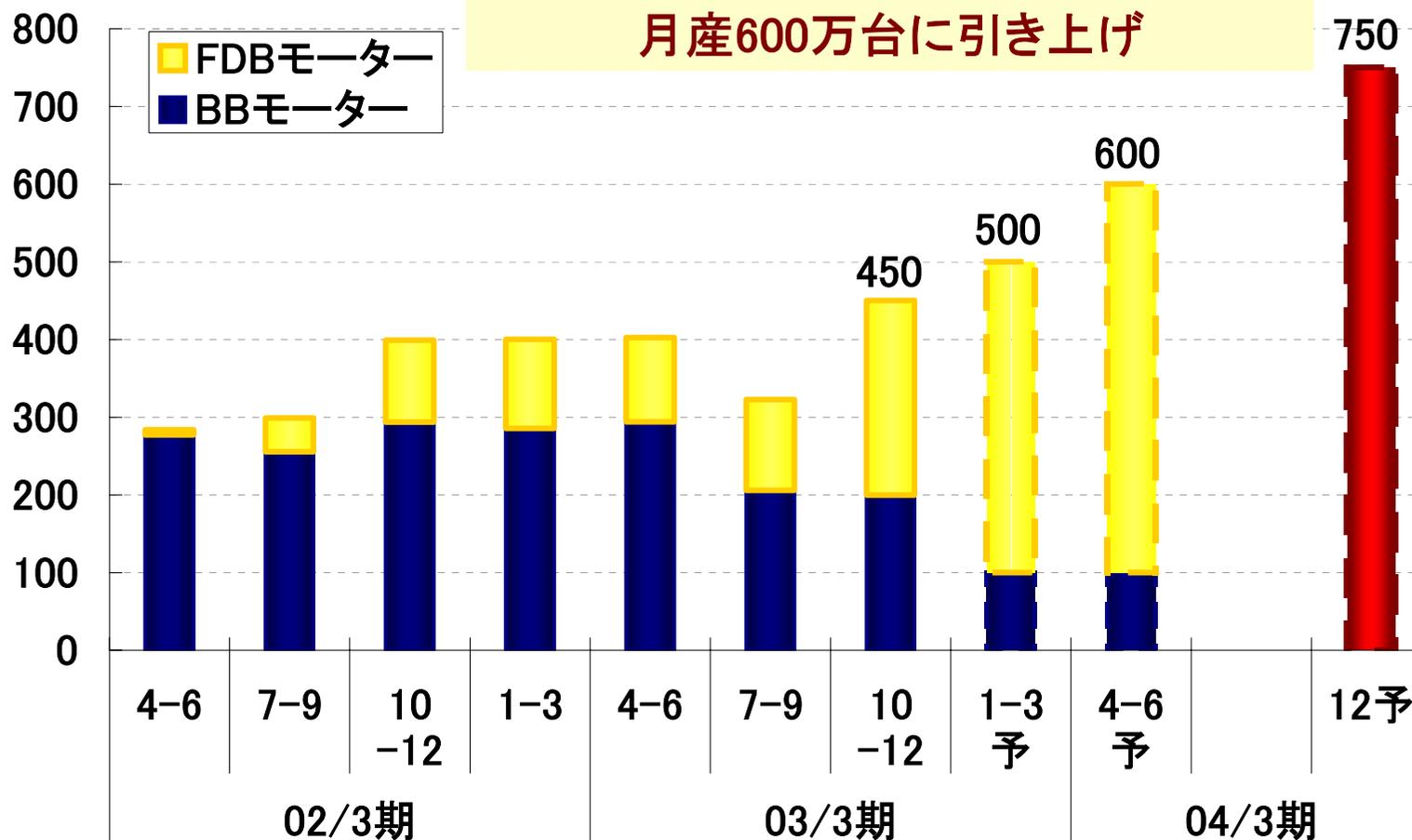
売上拡大と並行して、増産及び生産性改善を実施し、製造単価を大幅に引き下げ、利益率を維持、ないしは拡大する。

ボールベアリング販売単価・製造単価・生産数量の推移



# HDDスピンドルモーター販売数量推移

(万台/月)

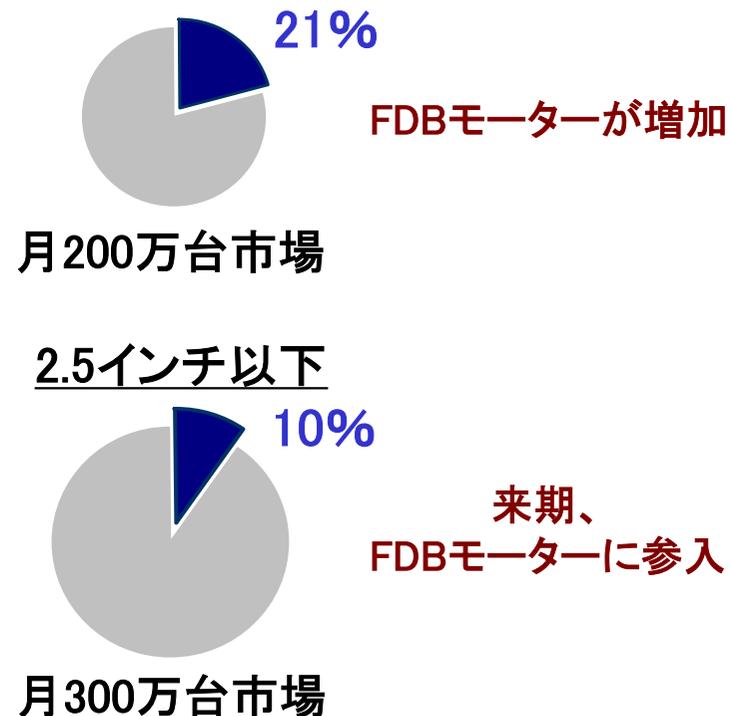
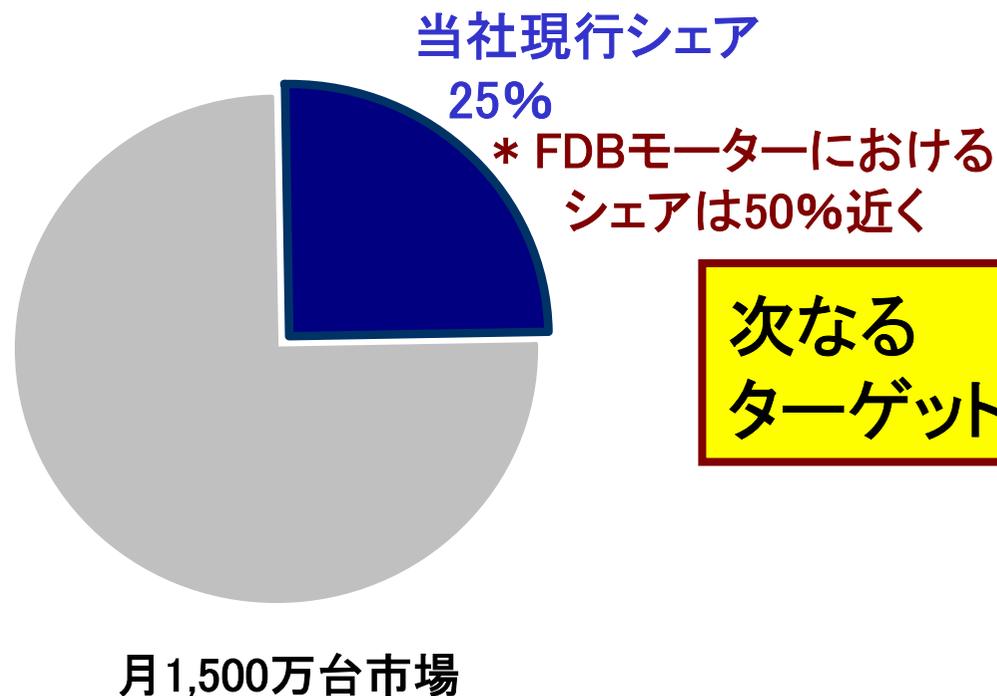


鍵は超精密機械加工

# HDDスピンドルモーター事業の現状及び戦略

市場シェア及び市場規模: 2002年10-12月  
ハイエンドサーバー

## 3.5インチデスクトップ



3.5インチローエンドのみで黒字基盤を構築  
 ユーザーのFDB化に合わせて順次3.5インチ売上拡大  
 次は、ハイエンド及び2.5インチ以下  
 機械加工・組立とも現有スペースで月1,000万台生産可能



2003年4-6月に黒字化  
 収益拡大へ

# 第4四半期その他製品見通し

---

## ピボットアッセンブリー

- 1-3月期は月1,500万台(前年比50%増)、市場シェア7~8割に
- 利益は改善傾向

## ファンモーター

- CPU用等の市場シェア拡大、1-3月期も月600万台以上を目指す
- 松下モータ社との共同開発製品の量産準備開始

## キーボード

- 1月は予想を上回る230万台の販売
- しかし、1-3月期は季節変動要因により販売若干減少する見通し

## エレクトロデバイス

- ライティングデバイスを次の柱に  
バックライト新規案件の獲得が順調に進展、来期売上目標70億円

# 中国事業の展望

中国は最大の成長市場、将来タイと並ぶ製造拠点に

## 重点取り組み内容

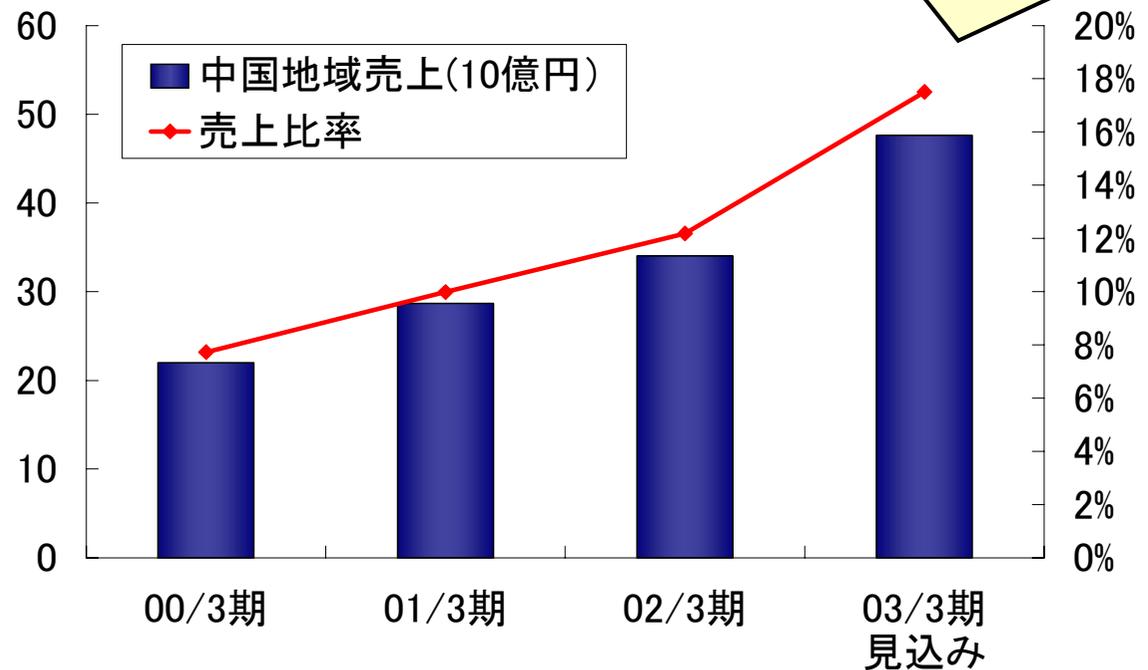
### 営業

- 中国国内市場の取り込み
  - 新営業組織稼働開始

### 製造

- 一層の製造原価低減
  - 原材料と副資材等の現地調達推進
- ⇒ 他地域への横展開
- 合併事業を通じて中国のコスト競争力を一層有効活用
  - キーボードの合併事業

中国エリア売上高推移



ベアリングを中心に、  
4割増収

# まとめ

---

## 第3四半期、事業体質が改善

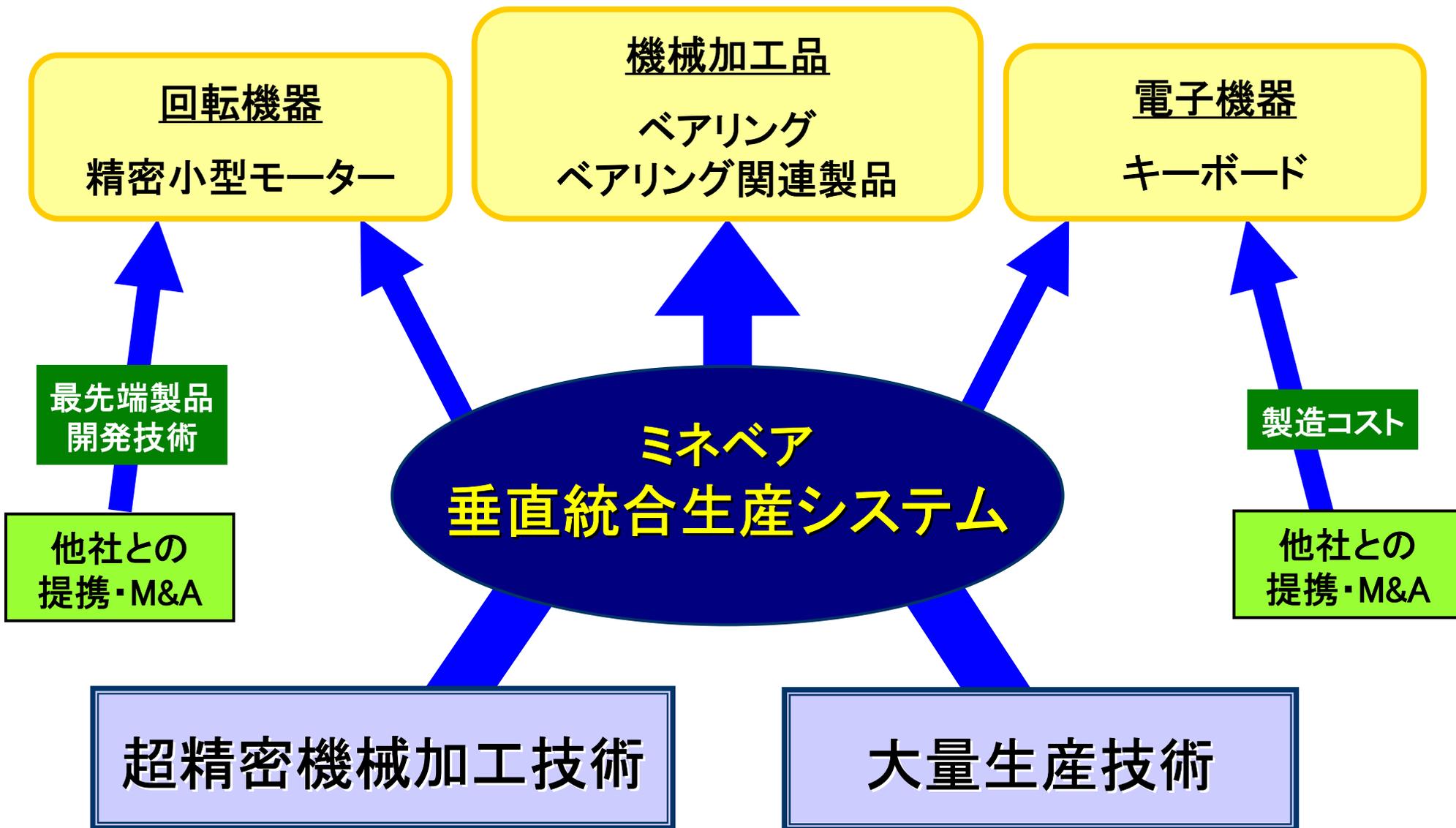
- 主要製品は、売上高過去最高、又は、損益改善傾向に
- 部品部門強化により、生産性向上
- 投資を抑えた増産

⇒ 来期増益達成目指す

活力のある内製部品部門が全てを支える

全事業で、ボールベアリングと同様に徹底的な生産性向上を推進

# 世界最強の総合精密部品メーカーへ



# ミネベア株式会社決算説明会

<http://www.minebea.co.jp/>

上記説明会で述べられた内容のうち歴史的事実でないものは、一定の前提の下に作成した将来の見通しであり、また、それらは現在入手可能な情報から得られた当社経営者の判断にもとづいております。

実際の業績は、さまざまな要素により、これら見通しとは大きく異なる結果となる場合があります。

実際の業績に影響を与える重要な要素としては、(1)当社を取り巻く経済情勢、需要動向等の変化、(2)為替レート、金利等の変動、(3)エレクトロニクスビジネス分野で顕著な急速な技術革新と継続的な新製品の導入の中で、タイムリーに設計・開発、製造・販売を続けていく能力、などです。但し、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。